

# ファミリーサポート・ぐりとぐら の あゆみ

平成10年度 (1998)

○上伊那初の「保育サービス講習会」(駒ヶ根市 女性ふれあい館主催)に参加。

保育サポーター17名誕生

平成11年度 (1999)

会員数 17名	お預かり(5~12月) のべ140人
---------	--------------------

○「ファミリーサポート・ぐりとぐら」と命名

☆講演会「こどもの心をよんでいますか? 県看護大 石川利江」開催

☆看護大学「子どもの虐待防止研究会」「たんぽぽの会(アトピーをもつ子どもと親の会)への参加(～現在まで)

☆「子育て関連サークル連絡会」発足の呼びかけと、とまとめ(～現在まで継続参加)

☆ふれあい広場参加(～現在まで)

☆ホーム祭参加(～2022年度より赤穂公民館合同「すずらん文化祭」とない現在まで参加)

○女性団体連絡会登録活動(～2009年まで)

○ボランティア連絡協議会登録活動(～現在まで継続活動)

○市民ネットアルフス登録活動(～2000年まで)

【市 飯坂保育園内子育て支援室 開室】

平成12年度(2000)

会員数 23名	お預かり(1～12月) のべ295件 のべ729人
---------	---------------------------

○託児問い合わせ専用の携帯電話を設置 090-3221-4666

○障がい児の託児をはじめる(タイムケア事業の引き受け団体となる)

☆「子育て交流会」2回開催

☆公開講座「こどものからだの発達と病気 昭和伊南総合病院 滝芳樹」開催

☆第1回「こどもとおかあさんのための音楽会バイオリン・ピアノ・オーボエ」開催

☆「子育て中のお母さんのための市町村合併についての説明会」開催

○市内「子連れで利用できる施設一覧」作成(子育て関連サークル連絡会)

○男女共同参画研究集会で子育ての分科会を担当

平成13年度(2001)

**会員数 34名**

**お預かり(1~12月) のべ696件 のべ1278人**

○託児おもちゃ、活動用エプロンの購入

○市のホリデーサポート事業(休日のお預かり)の引き受け団体として登録

☆「子育て交流会」2回開催

☆講演会「こどもの虐待ってどんなこと？」 県看護大 北山秋雄」開催

☆第2回「こどもとおかあさんと森の音楽会 フルート・オーボエ・ピアノ」開催

**平成14年度 (2002)**

**会員数 37名**

**お預かり(1~12月) のべ655件 のべ1261人**

○土曜保育を市に要請

☆「子育て交流会」2回開催

☆公開勉強会「こどもの育て方それぞれ～預けますか？預けませんか？～ 県看護大 吉沢豊子」

☆第3回「こどもといっしょに森の音楽会 木管五重奏」開催

○子育て支援冊子初版「親子でおでかけマップ」発行 (子育て支援室)

○「駒ヶ根市に幼い子どもと、子どもを育てる人たちが集える場所についてのお願い」の署名活動開始

(子育て関連サークル連絡会)

## 平成15年度（2003）

会員数 33名

お預かり(1~12月) のべ641件 のべ1258人

〇ぐいとぐらの名前使用について、福音館書店を通じて作者に許可をいただく。

☆第4回「こどもといっしょに森の音楽会 2台のピアノ・オカリナ」開催

〇平成14年度に引き続き「駒ヶ根市に幼い子どもと、子どもを育てる人たちが集える場所についての  
お願い」の署名活動と市への陳情

→ 駅前アルパ3階に「きっずらんど」オープン(10月)

〇子育て関連サークル連絡会から、新サークル「おでかけママズ」が独立し活動開始

【市 土曜拠点保育開始】

〇図書館協議会参加(～現在まで継続参加)

## 平成16年度（2004）

会員数 32名

お預かり(1~12月) のべ406件 のべ1368人

☆「子育て交流会」開催

☆第5回「こどもといっしょに森の音楽会 ソプラノトリオとピアノで森の秋」開催

☆公開講座「子育て中のお母さんのための市町村合併説明会」開催（企画財政課 講師）

〇子育て支援冊子第2版「おでかけママズ」発行

## ○食育懇話会参加(～2004年まで)

【市 5歳児検診を始める】

### 平成17年度(2005)

会員数 40名	お預かり(1～12月) のべ524件 のべ1358人
---------	----------------------------

☆第6回「こどもといっしょに森の音楽会 アンサンブルファンファールのクリスマス(金管5重奏)」開催

☆ふれあい広場 当年より「ふれあい魚つり」で参加

【あけぼの園「つくし園」として市に移行】

### 平成18年度(2006)

会員数 35名	お預かり(1～12月) のべ510件 のべ1375人
---------	----------------------------

○女性ふれあい館託児室の避難マニュアルを作成・掲示

○非常持ち出し袋・防災頭巾を設置

☆第7回「こどもといっしょに森の音楽会 アルパとピアノのフルーツと」開催

○子ども用品フリーマーケット開始 年2回(子育て関連サークル連絡会)

○男女共同参画研究集会で子育ての分科会を担当

○次世代育成懇話会(子育て10箇条策定)参加(～2007年まで)

## 平成19年度（2007）

会員数 30名

お預かり(1~12月) のべ456件 のべ1250人

☆第8回「こどもといっしょに森の音楽会 バイオリンとチェロの調べ風に乗って」開催

○市ファミリーサポートセンターの設立の可否等を行政とともに検討をはじめ

○昭和伊南総合病院から産科がなくなる問題についての勉強会「昭和伊南総合病院から産科がなくなるって本当ですか？」の開催を中心となって進める

→ 「安心して安全な出産ができる環境を考える会(in 伊南)」へ

○子育て支援冊子第3版「おでかけマママップ」発行

## 平成20年度（2008）

会員数 31名

お預かり(1~12月) のべ238件 のべ 688人

○おもちゃの家より玩具を譲り受ける

☆第9回「こどもといっしょに森の音楽会 高原の秋はずむマリンバ」開催

○駒ヶ根市社会福祉協議会より活動表彰を受ける

○市(社協)のファミリーサポートセンター立ち上げのための話し合いと準備を進める

【 つくし園 きらら(元観成園)に移転 】

**【 伊那養護学校「小学部はなももの里」分教室開室(中沢小学校内) 】**

**平成21年度 (2009)**

<b>会員数 30名</b>	<b>お預かり(1~12月) のべ146件 のべ 409人</b>
----------------	-----------------------------------

☆公開講習会「緊急サポート講習会」開催

☆第10回「こどもといっしょに森の音楽会 日本の音と秋の風(和楽器ユニット)」開催

○市(社協)のファミリーサポートセンタースタート(4月) 当会会員も協力会員として登録

○市民活動センター「ぱとな」登録 (10月オープン)

**平成22年度 (2010)**

<b>会員数 26名</b>	<b>お預かり(1~12月) のべ105件 のべ 302人</b>
----------------	-----------------------------------

☆第11回「こどもといっしょに森の音楽会 新米パパが歌う子どもに聴かせたいうた(テノール)」開催

☆公開勉強会「子どもの権利条約について教えてください 元人権擁護委員・中村榮三」開催

○子育て支援冊子第4版「おでかけママズ」発行

**【 伊那養護学校「中学部はなももの里」分教室開室(東中学校内) 】**

**平成23年度 (2011)**

**会員数 17名** | **お預かり(1~12月) のべ119件 のべ 237人**

○ふれあい広場 当年より昼食部協力参加

☆「子どもによる子どものための子どもの権利条約」を赤穂中に掲示

### 平成24年度 (2012)

**会員数 17名** | **お預かり(1~12月) のべ72件 のべ 210人**

○ぐいとぐらの大同窓会を開催

○「たかずやの里」建て替えのための寄付を行う

○子育て事業リーダー養成講座(市こども課)に参加

【 社協にボランティアセンター設置 (ボランティア連絡協議会) 】

### 平成25年度 (2013)

**会員数 18名** | **お預かり(1~12月) のべ107件 のべ 295人**

○「子育てひろば ひらけごま」が会員として参加。協力活動が始める

○文化センター託児室の避難マニュアルのまとめ直しと再掲示を行う

○送迎託児料金の見直しを行う

○長野県社会福祉協議会より活動表彰を受ける

☆「訪問型子育て支援 ホームスタート」についての学習(清瀬市ピッコロ 小俣みどり代表)

☆ホーム祭にて「伊那谷(辰野～飯田)市町村別お子さんのお預かり事業状況調査」のまとめを展示

○経塚保育園建て替えについて市子ども課担当者と懇談

○駒ヶ根市「子ども子育て会議」への参加(～平成30年度まで継続参加)

○東京都中野区「ココラク」との交流会(駒ヶ根市観光協会主催)

## 平成26年度 (2014)

会員数 16名	お預かり(1～12月) のべ187件 のべ325人
---------	---------------------------

○会の対外関係を整理し、関係図を作成

☆「伊那市児童養護施設 たかずやの里」「宮田村子育て総合施設うめっこらんど」見学

☆ホーム祭にて「たかずやの里」「うめっこらんど」のまとめと「ひらけごま」の活動展示

○経塚保育園建て替えに伴い、子育て支援施設について市子ども課担当者と懇談

## 平成27年度 (2015)

会員数 14名	お預かり(1～12月) のべ134件 のべ364人
---------	---------------------------

○「子育てひろば ひらけごま」が「地域での子どもの居場所づくり事業」として活動

☆「切れ目のないケアについて」(おひさま助産院助産師 小林 まゆみ)

- ☆「放課後デイサービスについて」(障害児相談支援事業所しろくまジャンプ 武井弘江)
- ☆十二天の森(駒ヶ根市きっずあそびパーク)見学と散策
- ☆安曇野市子育てひろば「ぽおぽお」 飯田市子育てサロン「おしゃべいサラダ」見学
- ☆ホーム祭にて「ぽおぽお」のまとめを展示

○少子化対策会議、地方創生会議への参加 (2018年度まで)

○経塚保育園建て替えに伴い、市子ども課担当者と懇談

○子育て支援士2種 受講

## 平成28年度 (2016)

会員数 18名	お預かり(1~12月) のべ101件 のべ340人
---------	---------------------------

- これまでに作成した託児関連資料、マニュアル全ての見直しと整理を行う
- 会の法人化への研究(子ども課とともに県のセミナーへの参加、個別調査等)を行う
- 総会にて法人化を決定
- 経塚保育園内新設予定の「子育てひろば」について共に準備をすすめる  
(新しい経塚保育園見学、子育て支援室との懇談、担当者による準備)
- ☆飯田市「おしゃべいサラダ」「長野こどもの城」見学と懇談

☆ホーム祭にて「駒ヶ根市における託児の経過と現在の状況」「ひらけごま」の活動を展示

○当会託児管理担当が市のファミリーサポートセンターのコーディネーターを兼務

○当会会員2名が子育てひろば「まあるくなあれ♪」職員となる

○子育て支援士2種、ひろば全協全国交流会、女性労働協会事故防止セミナー、

ひろば全協リーダーシップ研修 受講

【 市 経塚保育園建て替え完成 】

【 市 子育て支援センター・一時預かり室が飯坂から経塚へ移転 】

【 市 子育てひろば「まあるくなあれ♪」オープン 】

【 市 8カ月未満の子どもの一時的預かり保育事業開始 】

【 市 病児保育(まえやま内科胃腸科クリニック内 病児保育室へ委託) 開始 】

【 ファミリーサポートセンター 社協委託から市の直営へ 】

**平成29年度 (2017)**

<b>会員数 19名</b>	<b>お預かり(1~12月) のべ225件 のべ743人</b>
----------------	----------------------------------

**他、保育協力会員登録22名**

○市のファミリーサポートセンターに代わり、団体託児を当会にて受け入れる

○会の法人化見送り決定(市の事業委託見送りにより)

○保育協力会員を会員登録する

○高砂園へ活動拠点を設置し、休日、早朝、夜間のお預かりが無理なく受けられるようになる

○特別会員として5名の専門職が入会する

○ふれあい広場へ介護友達ボランティア部(休憩テント、付き添い)で参加

☆公開学習会「お母さんがいきいき子育てするために(長野県看護大学 清水嘉子学長)」開催

☆飯田市子育てサロン「おしゃべりサラダ」視察と懇談

○子育てひろば「まあるくなあれ♪」ファミリーサポートセンターの協力を行う

○子育て支援施設等の委託について教育長他(次長・課長・係長)との懇談を行う

○議会にて子育て支援施設等の委託についての市の考え方を質問

〔 団体託児 市のファミリーサポートセンター事業の対象外となる 〕

〔 市子ども課 経塚保育園内子育て支援施設(ひろば等)を平成33年度～委託に出す為の計画と予算を3か年計画に盛り〕

平成30年度 (2018)

会員数 18名

お預かり(1~12月) のべ310件 のべ986人

## 他、保育協力会員18名、特別会員5名

○駒ヶ根市文化財団奨励賞を受賞する

○赤い羽根共同募金を受け、ホームページ作成、高砂園託児室整備をする

○新年度からの託児料金、会員、会費見直し(団体会員新設)の検討と依頼をする

○保育協力会員の交流会を行う

○教育委員会次長、子ども課課長、係長との懇談を行う

○全国保育グループ連絡会に参加する

☆公開学習会「子どもの心と気持ち、育てる人の心と気持ち」(長野県看護大学学長北山秋雄)開催

☆第12回「子どもといっしょに街の音楽会(バイオリンとピアノを楽しみましょう♪)」開催

(Vi 原ゆかり、Pf 川上陽子)

○病院運営審議会、あいかた検討委員会への参加(お産の会に引き続き2010年より現在まで)

○子育てひろば「まあるくなあれ♪」ファミリーサポートセンターの協力を行う

平成31年度(令和元年度) (2019)

会員数 18名	お預かり(1~12月) のべ279件 のべ868人
---------	---------------------------

他、保育協力会員18名、特別会員5名

○駒ヶ根市市政65周年市政功労賞を受賞する

○会発足20周年の同窓会を行う(高砂園にて)

○規約改訂により、団体託児の依頼団体及び協力会員について年会費をいただく

○活動用エフロンを新調(イラストさとはつみ、フrint駒ヶ根工業高校の協力による)

○保育協力会員の交流会を行う

○子ども課課長、係長との懇談を行う

○駒ヶ根市保健師との懇談を行う

○時期市長選候補者2名との懇談をそれぞれ行う(伊藤ゆうどう氏、小松原繁樹氏)

○ふれあい広場、高砂園ふれあいの集い、ホーム祭への参加

☆第13回「子どもといっしょに街の音楽会(シンガーソングライター湯澤かよこ)」開催

○子育てひろば「まあるくなあれ♪」ファミリーサポートセンターの協力を行う

【市子ども課 3か年計画から、経塚保育園内子育て支援施設(ひろば等)の委託予算を外す】

令和2年度 (2020)

会員数 18名	お預かり(1~12月) のべ151件 のべ323人
---------	---------------------------

他、保育協力会員11名、特別会員5名

★新型コロナウイルスの感染拡大により、活動が大きく制限される。

○保育協力会員の交流会を行う

○子ども課課長、係長との懇談を行う

○託児料金(預かる側)の改訂を検討する(令和3年度より新料金スタート)

☆子育てひろば学習会を行う 参加:他市町村も含めた関係者40名

「もっと活かせるかもしれない!子育てひろばの繋がりを考える」

～地域子育て支援拠点事業に期待される役割～(NPO 法人ママーズネット代表 中條美奈子さん)リモート

☆災害ボランティア立ち上げ訓練に参加する(ボランティア連絡協議会、社協)

☆コロナ感染拡大により、ふれあい広場、高砂園祭中止となる。

☆ホーム祭にて活動展示を行う(ホーム祭としては最後)

○子育てひろば「まあるくなあれ♪」ファミリーサポートセンターへの協力を行う

令和3年度 (2021)

会員数 14名	お預かり(1~12月) のべ243件 のべ384人
---------	---------------------------

他、保育協力会員13名、特別会員5名

★前年度に引き続き、新型コロナウイルスの感染拡大により活動が大きく制限される。

**託児数はやや戻る。**

**○保育協力会員との交流会を行う**

**○子ども課赤羽課長、山田係長との懇談を行う**

**○アウトリーチに向けての学習会を 3 回行う**

「駒ヶ根市の子育て支援内容の確認と守秘義務について」ぐいとぐら託児コーディネーター 小倉絵里香

「耳を澄ませて心を結ぶ～あなたの思いを上手に伝えるアプローチを目指して～」社会福祉士 弓田香織

「あなたの力を貸してください～産後間もないママと赤ちゃんにできること～」助産師 小林まゆみ(リモート)

**○図書館購入の児童書 6 冊のスポンサーとなる(こどものとも(012・年少版・年中版)、こどものとも、かがくのとも、ちいさなかがくのとも)**

**○託児料金(預かる側)の改定**

**平日 1 時間あたり 600 円→850 円 土日祝日 1 時間あたり 700 円→950 円**

**預ける方の料金を据え置くため、差額分を企業、個人からの寄付金で補填する**

☆コロナ感染拡大により、ふれあい広場、高砂園祭中止となる

☆第1回すずらん文化祭(公民館と旧女性ふれあい館合同)にて活動展示を行う

**○子育てひろば「まあるくなあれ♪」ファミリーサポートセンターへの協力を行う**

## 令和4年度（2022）

**会員数 14名** | **お預かり(1～12月) のべ105件 のべ183人**

**他、保育協力会員12名、特別会員5名**

★前年度に引き続き、新型コロナウイルスの感染拡大により活動が制限される。

○当会扱いのお預り数は、前年度の半数程度となった。これは、令和4年度より駒ヶ根市のファミリーサポートセンター事業が保育者の手当を当会と同額に引き上げ、併せて利用者への補助を出す制度改訂を行ったことから、市で扱えるお預かりは市のファミリーサポートセンター利用を進めた結果あり、利用者にとってはプラスとなった。

○保育協力会員との交流会を行う

○子ども課赤羽課長、山田係長との懇談を行う

○アウトリーチに向けての学習会を3回行う

「耳を澄ませて心をつなぐ Part2」社会福祉士 弓田香織さん(10月)

「子どもの虐待をめぐって」長野県看護大学名誉教授 北山秋雄先生(12月)

「お子さんを預かる私たちが元気であるには」助産師 小林まゆみさん(2月)

○図書館購入の児童書6冊のスポンサーを継続(こどものとも(012・年少版・年中版)、

こどものとも、かがくのとも、ちいさなかがくのとも)

○上伊那全市町村の子育て支援について、各市町村の協力を得て約10年ぶりに調査。一覧にまとめ、すずらん文化祭で発表し、まとめを各市町村へフィードバックする。

☆コロナ感染拡大により、ふれあい広場、高砂園祭中止となる

☆第2回すずらん文化祭(公民館と旧女性ふれあい館合同)にて上伊那全市町村の子育て支援調査結果を展示する。

☆市民活動支援センターの登録団体となり(再登録)「ぼとな祭」で活動紹介を行う。

○女性労働協会グループ保険対象見直しに伴い、全会員への「保育サポート講習会」終了確認と、保育士等有資格者の改めての受講などの対応を行う。

○ファミリーサポートセンターへの協力を行う

○子ども服フリマの開催協力を行う

○図書館協議会参加(2003年～)

【駒ヶ根市ファミリーサポートセンター 預かり手の時間あたり料金を600円⇒850円に改訂

依頼者に1時間あたり250円の補助を新設]

【飯島町おひさま病児保育始まる(のどかクリニック併設)】

## 令和5年度（2023）

会員数 14名

お預かり(4～3月) のべ105件 のべ183人

他、保育協力会員11名、特別会員5名

★新型コロナウイルスの5類移行により、対面活動が徐々に元に戻る。

○当会扱いのお預り数は、前年度の半数程度となった。これは、令和4年度より駒ヶ根市のファミリーサポートセンター事業が保育者の手当を当会と同額に引き上げ、併せて利用者への補助を出す制度改訂を行ったこと、市担当者の丁寧な対応、当会からも市の制度利用を勧めた結果、市のファミリーサポートセンター利用が増えたことによる。

○保育協力会員との交流会を行う

○子ども課赤羽課長、山田係長との懇談を行う

○子育て支援に繋がる学習会を2回行う

「今どきの赤ちゃん、赤ちゃんのいる生活」おひさま助産院 小林まゆみさん(6月)

「知っておこう、駒ヶ根市の子育て支援制度いろいろ」駒ヶ根市子ども課保健師 木下真唯さん(6月)

「耳を澄ませて心をつなぐ Part3～みえづらいSOSを支援につなぐために」社会福祉士 弓田香織さん(11月)

○図書館購入の児童書6冊のスポンサーを継続(こどものとも(012・年少版・年中版)、こどものとも、かがくのとも、ちいさなかがくのとも)

## ○中央大学 FLT 天田ゼミ「駒ヶ根市における子育て支援調査」ヒアリング受け入れ(9月)

☆ふれあい広場(初のふれあいセンター会場)・高砂園ふれあいまつり(9月同日開催)活動展示を行う。

☆第3回すずらん文化祭(駒ヶ根文化サークル協会)にて活動展示を行う。

☆「ばとな祭」で活動展示を行う。

○市長選候補者との懇談を行う(12月、1月)

○ファミリーサポートセンターへの協力を行う

○子ども服フリマの開催協力を行う

○図書館協議会参加(2003年～)

## 令和6年度(2024)

会員数 11名	お預かり(4～3月) のべ54件 のべ97人
---------	------------------------

他、保育協力会員11名、特別会員6名、賛助会員1名

○当会扱いのお預り数は、前年度よりの半数程度(2年前の4分の一)となった。令和4年度より駒ヶ根市のファミリーサポートセンター事業が保育者の手当を当会と同額に引き上げ、併せて利用者への補助を出す制度改訂を行ったこと、市担当者の丁寧な対応(当会の託児管理担当)、当会からも市の制度利用を勧めた結果、市のファミリーサポートセンター利用が増えたことによる。

○保育協力会員との交流(意見交換)を行う

○子ども課、企画課の子育て支援に関わる担当者共に、令和4年の中央大学調査報告「駒ヶ根市における子育ての社会化とその課題」をもとに意見交換を行う。

(子ども課水野課長、菅沼係長、企画課久保が課長、吉澤係長、三枝係長、長野県看護大学北山名誉教授、小林助産師)

○子育て支援に繋がる学習会を2回行う

「耳を澄ませて心をつなぐ Part4～あなたから繋がる子育て安心社会」社会福祉士 弓田香織さん(9月)

「駒ヶ根市の子ども食堂について」肥野みさをさん(1月)

○図書館購入の児童書 6冊のスポンサーを継続(こどものとも(012・年少版・年中版)、こどものとも、かがくのとも、ちいさなかがくのとも)

☆ふれあい広場・高砂園ふれあいの集い(9月)活動展示を行う。

☆第4回すずらん文化祭(駒ヶ根文化サークル協会)にて活動展示を行う。

☆「ぱとな祭」で活動展示を行う。

○ファミリーサポートセンターへの協力を行う

○子ども服フリマの開催協力を行う

○図書館協議会参加(2003年～)

## 令和7年度(2025)

**会員数 11名** | **お預かり(4~3月) のべ54件 のべ134人**

**他、保育協力会員18名、特別会員6名、賛助会員1名**

○当会扱いのお預り数は、前年度より増加したが、数としては落ち着いている。各市町村の子育て支援事業の充実により、お預りに需要に対する供給の棲み分けが落ち着いたと思われる。ご事情のある方、市外からの依頼、タイムケア、急な依頼、団体依頼等、必要なお預りへの対応を行った。

○子ども課と意見交換を行う。(子ども課水野課長、三枝係長、支援センター横山先生)

○子育て支援に繋がる学習会を行う(3回)

「マイ子育てネットワークを探る15分~相談先を知っておこう!~」

子ども家庭ソーシャルワーカー 社会福祉士 弓田香織さん(9月)

(公開開催 高砂園子ども服リユースとのコラボ企画 ファミリーサポート・ぐいとぐらミニミニ講座 Vol.1)

「『しあわせしあわせ Now!』~わたしは何のために生きているのか~」

長野県看護大学名誉教授 北山秋雄先生(12月)

「昭和伊南総合病院の状況と新しい病院の計画についてお話を聞く会」(1月)

昭和伊南総合病院新病院建設担当、駒ヶ根市建設課担当

○図書館購入の児童書6冊のスポンサーを継続(こどものとも(012・年少版・年中版)、

こどものとも、かがくのとも、ちいさなかがくのとも)

☆ふれあい広場・高砂園ふれあいの集い(9月)にて活動展示を行う

☆第5回すずらん文化祭(駒ヶ根文化サークル協会)にて活動展示を行う

☆「ぱとな祭」にて活動展示を行う

○駒ヶ根市ファミリーサポートセンターへの協力を行う

○図書館協議会参加(2003年～)